

第4章

第4次富士見市生涯学習推進基本計画

基本目標① 多様な学習活動への支援

市民のライフステージに応じた学習機会の提供、学習情報の提供などによる学習環境の整備を行います。

社会状況の変化に伴い、オンライン学習やリモートワークの普及など急速なデジタル化が進展しています。今後もデジタル技術の進展に合わせた学習機会の提供や情報発信が求められ、特に若者層への生涯学習参加を促すために重要な役割を果たすと考えます。

また、生涯学習を社会全体で推進するには、市民一人ひとりが自ら行う生涯学習活動を支援するとともに、学校や企業、地域の団体などつながる機会を増やし、多くの人が気軽に生涯学習活動に参画できるようにする必要があります。行政だけで進めるのではなく、市民・学校・企業など地域全体で推進する体制の整備を進めます。

【KP1】生涯学習活動を行っていると回答した人の割合

(出典：市民アンケートモニター調査)

37.6% → 48.0%

(令和6年度)

(令和12年度)



高齢者学級

やってみよう☆子ども薬剤師

(子ども大学☆ふじみ)

◇基本施策

(1) ライフステージに合わせた学習機会の充実

人生100年時代を見据え、生涯を通して生きがいを持ち、健康で豊かな人生を送るために、各世代のニーズに応じた学習機会を提供します。

また、仕事・子育て・介護等で時間に制約のある人でも気軽に生涯学習に取り組めるよう、市民一人ひとりのライフスタイルに合わせた学習機会の充実を図ります。

【KSF】自分のライフステージに合った事業が
行われていると感じる人の割合
(出典：市民アンケートモニター調査)
26.9% → 35.0%
(令和6年度) (令和12年度)

取組の方向性	事業内容等
①子育てに関する学習機会の充実 妊娠中や出産後の保護者向けに、学びの機会を提供するとともに、親同士の仲間づくり、親子で楽しく過ごせる機会などを提供します。	継続 パパママ準備教室、乳児相談、子育てサロン、読み聞かせ講座、家庭教育支援事業など
②学齢期（小・中学生）に対する学習機会の充実 学校以外の場所での学習、学校の枠を超えた学習機会を提供します。	継続 子ども大学、夏休み体験教室、家庭学習応援事業、子ども司書講座など
③高齢者の学習機会の充実 高齢者の方に生きがいづくりや、居場所づくりとなる学習機会の充実を図ります。また、高齢者の交通手段確保のため、送迎付事業等の拡充を検討します。	継続 高齢者学級、老人福祉センター主催講座、コミュニティ大学への支援など
④障がい者の学習機会の充実 障がいのある方への学習・文化・スポーツ活動の支援を行います。	継続 ふじみ青年学級、誰もがたのしめるスポーツの推進、バリアフリー映画会など
⑤現代的課題に応じた学習機会の充実 社会全体の課題である環境問題、男女共同参画、国際理解等に関する学習機会を提供します。	継続 環境講座、国際交流フォーラムなど

⑥地域課題に応じた学習機会の充実	継続
防犯や防災など地域の身近な課題に応じた学習機会を提供します。	まちづくり講座、防災・防犯に関する講座など
⑦人権・平和に関する学習機会の充実	拡充
いのちや平和の大切さ、多様化する人権問題について考える機会の充実を図ります。	平和・憲法啓発事業、人権尊重啓発に関する講座など
⑧健康、スポーツ、文化、歴史、音楽などの学習機会の充実	継続
生きがいを持ち、健康で豊かな人生を送るため、様々な分野の学習機会を提供します。	健康づくり事業、ふじみ野じゅく、ふじみ考古学教室、スポーツ教室、ロビーコンサートなど
⑨ボランティアの方を対象とした学習機会の充実	継続
新たにボランティアを始める方へのサポートや、現在活動されている方のスキルアップにつながる学習機会を提供します。	ボランティアに関する養成講座、読み聞かせボランティア講習など
⑩ＩＣＴを活用した学習機会の充実	拡充
社会のニーズに合わせたＩＣＴを活用した学習機会の提供を推進します。オンライン会議や事業の動画配信など、ライフスタイルに合わせた学習機会の充実を図ります。	動画配信を活用した学習機会の提供（おうちで楽しむ公民館、料理教室のレシピ動画など）、ｅスポーツ ²⁸ 体験交流会【新規】、オンライン環境を活用した事業の実施など
関連部署等	
危機管理課、ＩＣＴ推進課、協働推進課、文化・スポーツ振興課、市民総合体育館、人権・市民相談課、交流センター、コミュニティセンター、児童館、子ども未来応援センター、福祉政策課、高齢者福祉課、健康増進センター、環境課、生涯学習課、図書館、公民館、資料館、学校給食センター	



²⁸ eスポーツ：「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称

(2) 学習情報の発信・相談体制の充実・推進体制の充実【重点施策】

生涯学習に関する学習情報の発信と相談体制の充実は、現在活動している方だけでなく、新たに活動を始めたい方にとって生涯学習への重要な入り口です。また、市民ニーズに応じた学習機会の提供を行うためには、地域全体の協働による生涯学習推進体制が重要となります。市民の主体的かつ自主的な生涯学習活動が行われるよう、各種団体や地域との連携を図りながら、関連情報の提供に努め、多様な学びの場を提供します。

【KSF】生涯学習に関する情報が手に入りやすいと
回答した人の割合
(出典：市民アンケートモニター調査)
27.2% → 40.0%
(令和6年度) (令和12年度)

●学習情報の発信

学習情報の発信については、日常的に活動している方は情報を入手できていますが、これから活動を始める方には情報が届きにくい状態であることが、市民アンケートや市民アンケートモニター調査の結果から推察されます。

新たに活動を始めたい方にも、わかりやすく情報を届けるために、既存のコンテンツを活用した学習情報の発信を強化します。また、SNS等を活用し、若年層への情報発信を強化することで、生涯学習活動の活性化や地域づくりの担い手の確保につなげます。

取組の方向性	事業内容等
①市ホームページなど既存の情報提供システムの活用 市ホームページで講座やイベント、施設利用方法などの情報提供を積極的に行うとともに、イベントカレンダーを利用した学習情報の集約化を推進します。幅広く情報提供を行うために、活用しきれていない手法も積極的に活用します。	拡充 市ホームページ、イベントカレンダーの活用、医療・介護・地域資源情報提供システムの活用 【新規】
②富士見市公式SNSの活用 若い世代を対象とした事業を中心に、富士見市公式SNSを活用した情報発信の強化を行います。	拡充 富士見市公式LINEなどを活用した情報発信
③広報紙などの紙面による学習情報の発信 市や生涯学習施設が発行している広報紙による学習情報の提供を行います。	継続 広報富士見、公民館だより、図書館だより、ふじみkids通信など

④生涯学習ガイドを活用した学習情報の発信	拡充
生涯学習ガイドの活用を推進するために、内容・レイアウトの見直しを実施します。	生涯学習ガイドのリニューアル
⑤デジタルサイネージ ²⁹ を活用した情報発信	新規
デジタルサイネージを活用した生涯学習に関する情報発信の実施を検討します。	デジタルサイネージの活用検討
⑥教育機関等と連携した学習情報の発信	拡充
幼稚園、保育所、学校などと連携して子ども向け事業の情報の提供を行います。	学校メール、チラシの配布協力など
関連部署等	
秘書広報課、公共施設マネジメント課、交流センター、保育課、児童館、子育て支援センター、高齢者福祉課、生涯学習課、図書館、学校教育課、公民館、資料館	

●相談体制の充実

生涯学習活動を始めようと思ったときに、気軽に相談できる相談体制の充実を図ります。また、学習活動の相談窓口を設けるだけでなく、具体的な活動に結び付ける体制を整備します。

取組の方向性	事業内容等
①学習相談や団体活動に関する助言・支援	拡充
生涯学習に関する専門的人材による学習相談や団体活動に関する助言・支援を行います。	社会教育主事、生涯学習施設職員、学芸員、図書館司書等による学習相談、レファレンスサービス ³⁰ などの充実
②ボランティア活動についての相談・情報提供	継続
ボランティア活動についての相談や情報提供、ニーズに対するマッチングを実施します。	市民人材バンク制度、ボランティアセンターの機能の充実
③ICTを活用した学習相談体制の検討	新規
ICTを活用した学習相談体制についてのニーズ調査を行い、実施について検討します。	アンケート調査、検討会の開催など
関連部署等	
交流センター、コミュニティセンター、生涯学習課、図書館、公民館、資料館、富士見市社会福祉協議会	

²⁹デジタルサイネージ：屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアの総称

³⁰レファレンスサービス：調べものの相談や資料を探す手伝いをするサービス

●推進体制の充実

基本理念に掲げる「心豊かに暮らせるまちづくり」を実現するためには、「市民と行政」、「地域と行政」が一体的に生涯学習に取り組む体制が重要となります。そのため公民館等の地域の拠点施設が、様々な個人や団体をつなぐ役割を担い、地域コミュニティの充実を図ります。

また、市民が自ら行う生涯学習の取組を広げ、発展させていくためには、その活動を支える拠点施設との連携が重要であるため、庁内関係部署間の連携の強化に努めます。

取組の方向性	事業内容等
①実行委員会・審議会への市民参画機会の充実 市民の声を生涯学習の推進に活かすため、実行委員会や審議会などの市民参画機会の充実を図ります。	継続 子ども大学、ふるさと祭り、公民館運営審議会、社会教育委員会議など
②市民との協働による事業の充実 幅広い市民の意見や要望を反映した事業を実施するため、市民との協働による事業の充実を図ります。また、地域の団体の活動を支援します。	継続 まちづくり協議会・資料館友の会・地区社会福祉協議会等との連携・活動支援、富士見市協働事業提案制度の実施
③市内の学校と地域の連携の充実 家庭・学校・地域の連携により地域社会全体での、子育てや子どもたちの成長を支える活動に参画するための環境づくりに努めます。	拡充 コミュニティ・スクールの推進【新規】、部活動の地域転換に向けた検討、学校応援団 ³¹ の活動支援、地域子ども教室 ³² 開催支援、市内小・中・高校生のイベント参画機会の充実
④青少年健全育成団体との連携 青少年の自立や健全育成を推進する活動を行っている各団体の活動を支援します。	継続 富士見市青少年育成市民会議、富士見市青少年相談員協議会、子ども会育成会などへの活動支援

³¹ 学校応援団：学校での教育活動を支援する保護者や地域の方々によるボランティアの活動組織

³² 地域子ども教室：子どもたちの安全・安心な居場所をつくるため、地域の大人が指導者となって週末や放課後などにスポーツや文化活動などの様々な体験活動などを行うもの

⑤NPO・企業等との連携	地域に関連する企業や団体と積極的に連携し、様々な学習機会の提供や交流機会の充実を図ります。	拡充 NPO法人富士見市民大学への支援、近隣大学との連携協定を活用した事業の実施、富士見市価値共創プラットフォーム『SDGs フジミライテラス』 ³³ への参加、子どもの居場所づくり実施団体への支援（子ども食堂など）
⑥府内での連携体制の充実	生涯学習に関連する部署で情報を共有し、連携して生涯学習の課題解決と推進を図ります。	拡充 生涯学習担当者連絡調整会議【新規】、富士見市生涯学習推進委員会による計画の進捗管理及び情報交換、公の施設連絡調整会議
関連部署等		
政策企画課、シティプロモーション課、協働推進課、文化・スポーツ振興課、交流センター、コミュニティセンター、子ども未来応援センター、生涯学習課、学校教育課、公民館、資料館		



ふじみ野遊びーズ
(地域子ども教室)



青少年健全育成市民大会
(青少年育成市民会議)

³³ 富士見市価値共創プラットフォーム『SDGs フジミライテラス』: SDGs の達成に向けた取組みを起点として、企業・団体・教育機関・市民などあらゆるステークホルダーとの連携強化を図るとともに、パートナーカーの相互交流や情報共有を通じて、『感動』と『共鳴』を創出する自律的取組みを共創することにより、持続可能なまちづくりを実現していくことを目的として創設したプラットフォーム

基本目標② 地域資源を活かした生涯学習の推進

本市の郷土芸能や自然環境、農業・商工業などの地域資源や、地域の多様な人材などを活かした学習機会を充実させるとともに、地域活性化などにつながるよう支援を行います。

【KPI】地域資源を活かした講座の参加者数

(出典：主要な施策の成果報告書)

5,344 人 → 6,700 人

(令和6年度) (令和12年度)



やなせ川いかだラリー
(水谷東公民館)



ジュニア考古学クラブ 発掘体験
(水子貝塚資料館)



田んぼ体験隊 田植え体験
(難波田城資料館)

◇基本施策

(1) 地域資源を活かした学習機会の提供

水子貝塚公園（資料館）や難波田城公園（資料館）などの歴史公園や文化財・郷土芸能、豊かな自然、文化芸術、農業や商工業などの地域資源を活用した学習の機会を充実させることにより、本市の魅力の再発見と地域への愛着醸成につながる生涯学習を推進します。

【KSF】資料館等で実施する地域資源を活かした 特色ある事業数	
17事業	→ 20事業
(令和6年度)	(令和12年度)

取組の方向性	事業内容等
①市の歴史に関する事業の充実	継続
市の歴史公園での体験事業や、公共施設を利用した文化財の展示解説、体験活動などの充実を図ります。	土曜おもしろミューズランド、遺跡見学会、特別展など
②郷土芸能団体への活動支援	継続
郷土芸能をはじめとした民俗文化財の保存・継承の支援をします。また、郷土芸能の動画公開などの情報提供に努めます。	保存団体への支援、郷土芸能の団体活動の動画公開など
③市の自然を活かした事業の充実	継続
市内の豊かな自然を活かした事業を実施します。	やなせ川いかだラリー、川の生き物調査・観察会、コスモス街道づくり支援など
④市の商工業や農業を活かした事業の充実	継続
市内及び近隣市町の商工業、農業と連携した事業を実施します。	なんばた青空市場、田んぼラグビー、ららぽーと富士見と連携した事業の実施、田んぼ体験隊など
⑤文化芸術事業の充実	継続
市民文化会館キラリ☆ふじみでの文化芸術に関する事業を実施します。	音楽鑑賞、演劇公演など
関連部署等	
シティプロモーション課、文化・スポーツ振興課、市民文化会館キラリ☆ふじみ、産業経済課、農業振興課、環境課、生涯学習課、公民館、資料館	

(2) 地域の人材を活かした学習機会の提供

生涯学習のさらなる活性化に向け、地域の人材を活かした生涯学習の取組みを推進します。また、生涯学習活動に取り組む市民が、生涯学習指導者や生涯学習ボランティアとして活躍してもらう機会を創出することで、生涯学習の成果を活かしたまちづくりを推進します。

市民人材バンク制度の推進を目的として活動している県内唯一の団体である富士見市市民人材バンク推進員の会と連携して、市民人材バンクのPR活動、登録者の利用促進に努めます。

【K S F】富士見市市民人材バンクの依頼件数

(出典：生涯学習課資料)

218件 ➡ 280件

(令和6年度) (令和12年度)

取組の方向性	事業内容等
①市民人材バンク制度の充実	拡充
市民人材バンクの登録者数拡大に向け、富士見市市民人材バンク推進員の会への支援を行います。	富士見市市民人材バンク推進員の会への活動支援、PR活動の実施
②地域子ども教室の開催支援	継続
子どもたちの安心安全な遊び場、地域の人との交流の機会を提供するため、地域と学校の連携に向けた支援を行います。	地域子ども教室開催支援
③市内小・中・高校生のイベント参画機会の充実	拡充
学生のイベントへの参画を促し、生涯学習の新たな担い手を育てるきっかけを作ります。また、学生の意見を取り入れた事業を行います。	学生の実行委員会への参加、学生企画事業の実施（怪皆亭など）、学生ボランティアなど
④防災・防犯対策事業の充実	継続
市民一人ひとりの防災・防犯対策に関する意識向上につながる学習機会の充実及び、地域での取組の支援を行います。	防災リーダー養成講座・自主防犯活動リーダー講習会など
⑤市民との協働による特色のある事業の推進	継続
市民の力を活かした市の特色ある事業を実施します。	資料館友の会との連携事業（再掲）など
関連部署等	
危機管理課、協働推進課、交流センター、生涯学習課、公民館、資料館	

(3) 新たな人材の発掘【重点施策】

生涯学習活動の指導者・参加者の固定化・高齢化の課題に対応するため、地域の人材を発掘する必要があります。すでにスキルを持ちながら活かせていない方、これから学習したい方、双方への支援を行います。

また、公民館や交流センターなどの生涯学習施設にあまり親しみのない方も、気軽に参加できる取組を実施します。

【K S F】ボランティア育成講座への参加者数

(出典：主要な施策の成果報告書)

313名 → 400名

(令和6年度) (令和12年度)

取組の方向性	事業内容等
①市民人材バンク制度の充実（再掲） 市民人材バンク登録者数の拡大に向けた、富士見市市民人材バンク推進員の会への支援、PR活動を実施します。	拡充 市民人材バンク制度の推進
②ボランティアの方を対象とした学習機会の充実（再掲） 新たにボランティアを始める方へのサポートや、現在活動されている方のスキルアップにつながる学習機会を提供します。	継続 ボランティアに関する養成講座、読み聞かせボランティア講習など
③地域と連携した新たな地域交流機会の創出 若者・子育て世代を中心とした全世代が気軽に参加できる地域イベントの実施や、未来の地域の担い手である学生と地域の交流機会を創出します。	新規 富士見市版カタリバ ³⁴ の実施検討・研究【新規】、Craft Night Gardenなど
④市内小・中・高校生のイベント参画機会の充実（再掲） 学生のイベントへの参画を促し、生涯学習の新たな担い手を育てるきっかけを作ります。また、学生の意見を取り入れた事業を行います。	拡充 学生の実行委員会への参加、学生企画事業の実施（怪皆亭など）、学生ボランティアなど
⑤次世代を育てる事業の実施 指導者となる人材を育てるため、そのきっかけとなる学習機会の充実を図ります。	拡充 次世代の富士見市平和大使派遣事業、スポーツ指導者養成講座など
関連部署等	文化・スポーツ振興課、交流センター、健康増進センター、生涯学習課、図書館、公民館、資料館

³⁴ カタリバ：子どもと大人の出会い創出事業。小・中・高校生が人生の先輩（大学生や社会人など）の体験や、学校生活での悩みや進路、仕事のことなどについて色々と語り合うキャリア学習プログラム

基本目標③ 生涯学習を通じたコミュニティの活性化

基本理念に掲げる「心豊かに暮らせるまちづくり」を実現するため、「市民と市民」や「市民と地域」がつながる機会を創出する取組を推進します。交流や協力の輪を広げることで、お互いを支え合い、地域コミュニティの活性化へとつなげます。

【KPI】生涯学習活動を通じて、人ととのつながりが
増えたと回答した人の割合
(出典：アンケートモニター調査)
30.4% → 39.0%
(令和6年度) (令和12年度)

市民文化祭



資料館友の会作品展
(難波田城資料館)

写真

◇基本施策

(1) 学習成果の発表機会の充実

市民が自らの学びを振り返り、達成感や自信を得られるよう、学習成果の発表機会を充実させます。発表の場を通じて、学びをさらに深めるだけでなく、参加者同士や来場者との交流が生まれ、市民同士のつながりが広がることで、学習活動の継続や地域全体の活性化にもつなげていきます。

【KSF】文化祭への参加人数	
(出典：主要な施策の成果報告書)	
13,282人 (令和6年度)	→ 17,000人 (令和12年度)

取組の方向性	事業内容等
①富士見市民文化祭、各地域文化祭への支援 発表の機会を積極的につくり、市民文化の醸成を図ります。	継続 富士見市民文化祭、市内公共施設で開催される各地域文化祭
②日常的な発表機会の提供 各施設の交流コーナーやフリースペースを活用した日常的な作品発表機会の提供を行います。	継続 公民館等における展示スペースの活用促進
③小・中学生の学習成果発表機会の充実 市内小・中学校の児童・生徒が取り組んだ学習成果の作品展示・発表機会の充実を図ります。	継続 富士見市児童・生徒社会科展、生涯学習事業での作品展示など
④市民人材バンクの庁内での利用促進 市民人材バンクの利用促進に向け、庁内での連携・相談体制の強化を行います。	新規 生涯学習担当者連絡調整会議
関連部署等	文化・スポーツ振興課、交流センター、コミュニティセンター、生涯学習課、図書館、公民館、資料館

(2) 学習成果の活用機会の創出

生涯学習の成果を、ボランティア活動や生涯学習指導者としての活動、地域課題の解決などに活かせる機会を提供します。このような取組により、学習成果を地域に還元し、社会に役立てることで、人と人とのつながりを広げ、コミュニティの活性化を図ります。

【K S F】市民人材バンク推進員の会主催の
モデル事業の実施回数
(出典：生涯学習課資料)
3件（年） → 18件（5年間累積値）
(令和6年度) (令和12年度)

取組の方向性	事業内容等
①市民人材バンクの庁内での利用促進（再掲） 市民人材バンクの利用促進に向け、庁内での連携・相談体制の強化を行います。	新規 生涯学習担当者連絡調整会議
②市民人材バンク制度の充実（再掲） 市民人材バンク登録者数の拡大に向けた、市民人材バンク推進員の会への支援、PR活動を実施します。	拡充 市民人材バンク推進員の会への活動支援
③防災・防犯対策事業の充実（再掲） 市民一人ひとりの防災・防犯対策に関する意識向上につながる学習機会の充実及び、地域での取組の支援を行います。	継続 防災リーダー養成講座・自主防犯リーダー講習会など
④市民学芸員や資料館友の会との協働による事業の推進 市民学芸員や資料館友の会の力を活かした資料館の事業を実施します。	継続 資料館が実施する各種事業
⑤サークルや市内学校の部活動と連携した事業の充実 生涯学習施設で活動しているサークルや、市内中学校・高校の部活動と連携した事業の充実を図ります。	新規 地域子ども教室への協力、生涯学習事業での講師依頼など
関連部署等	
危機管理課、協働推進課、交流センター、生涯学習課、学校教育課、公民館、資料館	

(3) 市民間交流の促進【重点施策】

コミュニティに積極的に関わる新たな市民を増やすため、市民同士が交流できる仕組みを創出します。さらに、世代を超えて人と人がつながるきっかけとなる「居場所づくり」を進めるとともに、子育て世代や高齢者などの孤立しやすい方が安心して集える「居場所づくり」も進め、誰もが地域と関わりやすい環境を作り、地域コミュニティの活性化を図ります。

【K S F】市民間交流を目的とした 新たな事業・イベントの実施回数 (出典：生涯学習課資料)	
— (令和6年度)	→ 6回（累計） (令和12年度)

取組の方向性	事業内容等
①同世代との交流機会の提供	継続
仲間をつくるきっかけとなる場や、安心して集える居場所を提供します。	子育てサロン、高齢者学級（クラブ活動）、ふれあいサロンなど
②施設利用者同士の交流機会の充実	継続
施設を利用する方々が互いに交流し、つながりを深められるよう、交流会などの開催を支援します。	交流会、利用者懇談会、縁日など
③ふれあいサロン運営事業の支援	継続
介護予防拠点としてだけでなく、交流の場としての開催・運営の支援をします。	各地域におけるふれあいサロンの活動サポートなど
④多世代との交流機会の促進	拡充
世代を超えた交流の場の提供、開催支援を行います。また、誰もが楽しめるeスポーツなどを活用した交流機会を提供します。	地域子ども教室、子ども食堂、eスポーツ体験交流会【新規】、富士見市版力タリバの実施検討・研究【新規】など
⑤共通の趣味を持った方々の交流機会の充実	新規
個々で活動する愛好家の活動場所や発表機会、交流の場を提供します。	eスポーツ体験交流会【新規】、ボードゲーム交流会【新規】、コレクション発表会【新規】など
⑥異文化との交流機会の推進	継続
世代や国籍を超えた交流ができ、異文化についての学びを深める機会を提供します。	国際交流フォーラム（再掲）
⑦子ども・若者の居場所づくりの支援	継続
子どもや若者が安心して過ごし、自由に交流できる居場所づくりを支援します。	富士見子ども・若者の居場所応援ネット、子ども食堂など

関連部署等

文化・スポーツ振興課、交流センター、コミュニティセンター、子ども未来応援センター、
健康増進センター、生涯学習課、公民館、社会福祉協議会

基本目標④

生涯学習関連施設の充実

生涯学習関連施設は、すべての市民が、いつでも、どこでも、いつまでも自発的・主体的に活動することができ、学びの情報を得ることや、交流を深めることができる場です。

また、地域を創る市民活動の拠点となる重要な役割を担っている点から、生涯学習を推進するため、利用者への配慮と地域住民の意見を活かした施設の整備・充実に努めます。

【KPI】生涯学習活動を行う施設環境に対する満足度

(出典：市民アンケートモニター調査)

49.3% ➡ 65.0%

(令和6年度) (令和12年度)

◇基本施策

(1) 施設の整備・機能の充実

誰もが使いやすく、安全に快適に利用できる施設として、ユニバーサルデザインに配慮した施設の整備に努めます。また、多様化する学習活動を支援するため、生涯学習施設としての設備や機能の充実を図ります。

【KSF】各公民館・交流センター・コミュニティセンター

ピアザ☆ふじみ・図書館の利用者数

(出典：主要な施策の成果報告書)

518,925人 ➡ 585,000人

(令和6年度) (令和12年度)

取組の方向性	事業内容等
①ユニバーサルデザインに配慮した施設の整備	継続
誰もが使いやすく、安全で快適に利用できる施設の整備に努めます。	生涯学習関連施設の整備・改修・修繕
②展示機能の充実・活用	継続
公共施設における展示スペースの充実と活用に努めます。	展示スペースの利活用

③図書館の情報拠点としての機能の充実	継続
地域の情報拠点として市民の幅広いニーズにこたえるため資料の収集と資料提供を行います。併せて公共施設での資料受け取りや電子書籍の充実を図ります。	レファレンスサービス、電子図書館の充実
④歴史公園・資料館の機能の充実	継続
文化財の保存と活用を促進するため、水子貝塚公園の再整備を行います。また、歴史公園・資料館の良好な状態を維持し、文化財の「見える化」に努めます。	水子貝塚公園の再整備、文化財の展示など
⑤運用改善による施設機能の充実	新規
生涯学習施設の利用促進に向け、施設利用に係る運営を見直し、施設機能の充実を図ります。	利用登録団体の更新手続きの簡素化、利用案内の刷新など
⑥公民館、交流センター、コミュニティセンターの児童生徒の学習施設としての機能の充実	拡充
生涯学習施設のフリースペースを、児童生徒の学習スペースとして機能充実を図るとともに、その周知に努めます。	生涯学習施設におけるフリースペースの活用促進
⑦災害時における避難所や情報収集拠点としての機能の充実	継続
市内の生涯学習施設の安全性を確保するとともに、関係職員との連携を図り、防災拠点（避難所や情報収集拠点）としての運営機能向上を図ります。	生涯学習施設における防災拠点としての機能向上
⑧ICTを活用した学習施設としての機能の充実	拡充
ICTを活用した学びや地域活動のサポートを行うために、配信機器などの充実を図ります。	デジタルデバイド対策事業、ICTを活用した事業の実施、配信機器の整備
関連部署等	
危機管理課、公共施設マネジメント課、營繕課、ICT推進課、交流センター、コミュニティセンター、農業振興課、図書館、公民館、資料館	



デジタルデバイド対策事業
(鶴瀬公民館)